

企業活動の グローバル展開

強いリーダーシップがけん引

ダイナミックに進む企業活動のグローバル化。急激に伸びる世界市場で新たな活路を切り開くには、強いリーダーシップが欠かせない。このほど開催した日経産業新聞フォーラム2009「今、企業に求められるグローバルリーダーの育成」(後援：経済産業省、協賛：グロービス・コーチ・エイ)では、グローバル経営に取り組み企業トップと、人材育成に当たる専門家二人がその経験と実例に基づいて、理想とされる人材像と育成法について講演した。



今、企業に求められるグローバルリーダーの育成



セッション①
グロービス オガゼーション・リーダーシップ
マネージング・ディレクター 高橋 亨氏

グロービス・オガゼーション・リーダーシップは、企業の人材育成、組織変革のサポートを手がけており、東名阪を中心にクライアント数約二百五十社、研修参加者は年間延べ一万人以上いる。私の前職は商社で四年間一貫して海外事業に携わってきた。前職・現職双方の経験を活かして、



基調講演

約一年半前に弊社の約二倍の規模を持つ英国のヒルキントンというファブ会社を買収した。買収で売り上げが三倍以上に増え、マーケットシェア世界一位の益と並走までになり、海外売上比率は買収前の一九％から一挙に七五％に増加した。生産拠点は二十九カ国、販活活動をしているのは百三十カ国になる。買収一年後に日NSCと一体の組織にし、買収先の会社の社長を最高経営責任者

日本板硝子 取締役会議長 出原 洋三氏

要はマネジメント力

経営への手法、融合に責務

約一年半前に弊社の約二倍の規模を持つ英国のヒルキントンというファブ会社を買収した。買収で売り上げが三倍以上に増え、マーケットシェア世界一位の益と並走までになり、海外売上比率は買収前の一九％から一挙に七五％に増加した。生産拠点は二十九カ国、販活活動をしているのは百三十カ国になる。買収一年後に日NSCと一体の組織にし、買収先の会社の社長を最高経営責任者

今、企業に求められるグローバルリーダーの育成

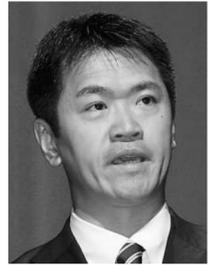
この考えでグローバルリーダーの育成は、経営への手法、融合に責務を要する。グローバルリーダーの育成は、経営への手法、融合に責務を要する。グローバルリーダーの育成は、経営への手法、融合に責務を要する。

共感できる接点見だし 価値を語る能力が大切

共感できる接点見だし 価値を語る能力が大切。共感できる接点見だし 価値を語る能力が大切。共感できる接点見だし 価値を語る能力が大切。

セッション②
コーチ・エイ 取締役社長 鈴木 義幸氏

企業に特化したコーチ・エイを設立した。スタッフは約百人、うち七十人がプロのコーチだ。私たちがコーチは、クライアントの方と双方向にコミュニケーションを交わしながら、相手が必要なリーダーシップを養うことを目指している。



継続的なテーラーメイドアプローチで人材育成を

継続的なテーラーメイドアプローチで人材育成を。継続的なテーラーメイドアプローチで人材育成を。継続的なテーラーメイドアプローチで人材育成を。



THK 代表取締役社長 寺町 彰博氏

特別講演

THKは一九七一年設立。機械部品の製造とあり、L Mカド、直線運動の軸受けのバネとして世界市場を切り開いてきた。売り上げの五〇％以上が特許製品であり、直線運動分野では日本でもトップ五のメーカーとして、世界で五〇％以上のシェアを持つ。新しい時代が、いろいろな技術革新が今後進んでいく中で大きなチャンスであると考えている。グローバルな販売、生産体制を構築し、生産拠点は日本十二カ所、海外に九カ所、現在、現地化を進めるまで大変な事なことが多く気づいた。

企業文化の理解、先決

世界展開に顧客サイドの心

企業文化の理解、先決。世界展開に顧客サイドの心。企業文化の理解、先決。世界展開に顧客サイドの心。企業文化の理解、先決。世界展開に顧客サイドの心。



ローバルリーダーとは？

フォーラム2009 16日

出原洋三